

急変時の対応

A: 発見者

①人手を集める（大声で呼ぶ、スタッフ専用コール、PHS等）

《例：〇〇(場所)で、患者さんが急変しました。すぐ来てくださ

②患者のそばを離れない




③その場でできる処置を実施

* 心肺停止状態⇒胸骨圧迫開始（病棟:エアーマット解除）



B: 応援者-必要物品の準備、胸骨圧迫交代要員

①現場に駆けつけ状況確認

②必要物品の準備（AED  救急カート  モニター  ）

③挿管・酸素投与、静脈路確保の準備

C: 応援者-コード・ブルー放送（リーダーとして、状況を把握し役割分担等）

《連絡》①固定電話、PHSで「730#」をダイヤルしチャイム自動放送後「コードブルー、〇階◎病棟」と明確に2回繰り返す。

★処置時の声が放送されないように通話切断を確実に実施。

※通話強制解除「740#」

②主治医、家族に連絡

医師への報告はSBARで！

S：患者の状態

B：臨床経過

A：状況評価の結論

R：提言・具体的な要望・要請

《役割分担の指示》

- ・救命処置実施場所の設定（急変患者または同室患者の移動の判断）
- ・有効な胸骨圧迫の維持のため短時間で交代しながら実施
- ・経時的に記録する（急変時経過記録用紙あり）
- ・現場周辺の対応（病棟においてはナースコール対応等）

《その他》

※「ACP指示書 時系列」内の「心肺蘇生術の希望」欄を確認して、意思を尊重した対応を行う。

「ACP指示書 時系列」内に入力がない場合は、救命を優先し治療過程で確認していく。

福井県立病院 医療安全管理について

福井県立病院では、より安全な医療の提供のため、医療安全対策を積極的に実施しています。

- より安全な医療の提供のため、医療安全管理室・医療安全グループを設置し、医療事故の防止に取り組んでいます。
- 医療安全管理グループには、専従の医療安全管理者を設置しており、患者さんやそのご家族からの医療安全に係る相談をお受けしております。
- 疑問や不安なことがございましたらご相談ください。
- また、患者さんからのご意見もお寄せいただき、適時適切にマニュアルの点検や見直しを行い、安全な医療の提供に努めてまいります。お気づきの点がございましたら、ご意見をお聞かせください。

医療安全管理室・医療安全グループの場所（本館3階）
総合案内窓口でもご案内いたします。



福井県立病院長
医療安全管理室長

福井県立病院 院内感染防止対策のお知らせ

福井県立病院では、みなさんに安心して当院をご利用いただけるよう、院内感染防止対策として以下のような取り組みを行っています。

1. 医療安全管理室・感染防止グループに、専従の院内感染管理者を配置しています。
2. 感染防止対策に関する専門的な知識を持った医師、看護師、薬剤師、検査技師を中心とした感染制御チームを作り、週1回病院内を巡回して、感染対策の実施状況を確認しています。
3. 感染制御チームは、院内感染症の発生状況を調査し、病院内の各部門への指導を行って感染拡大を予防しています。
4. 抗菌薬を適正に使用することにより、薬剤が効きにくい細菌の発生を予防しています。
5. 感染制御チームが企画して、全ての病院職員が年2回以上出席する院内感染防止対策の研修会を開催し、職員一人ひとりが自己研鑽に努めています。
6. 感染防止対策に関する最新の見識・情報に基づいた手順書を作成し、全職員が遵守するように心がけています。
7. 地域の医療機関からの感染対策に関する相談を受け、また合同の検討会を開催するなど、地域ぐるみで感染対策の向上を目指しています。

福井県立病院長
医療安全管理室長